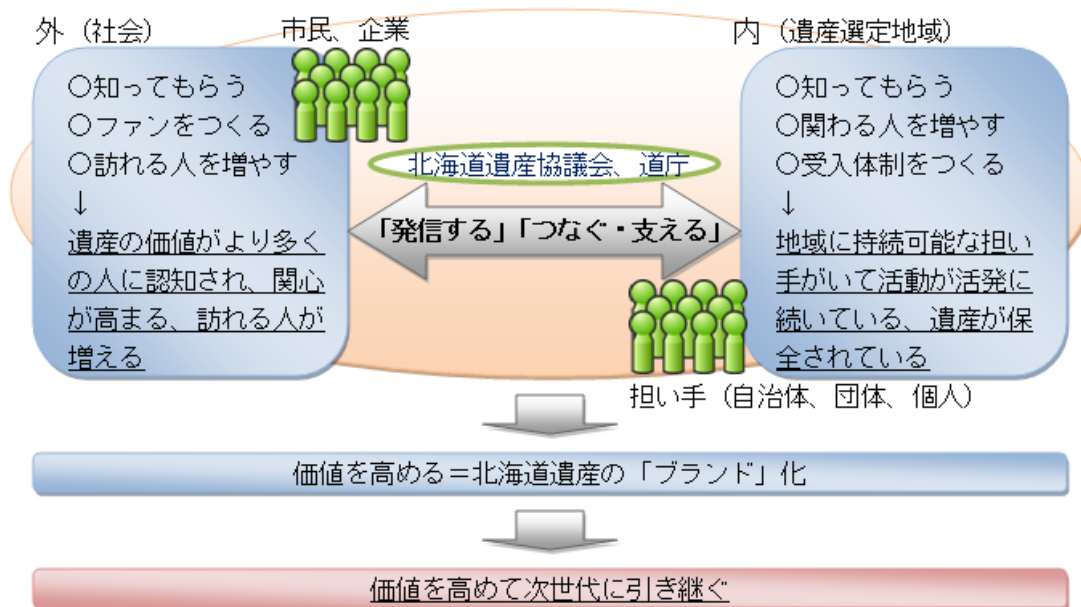


平成 25 年度 NPO 法人北海道遺産協議会事業計画

<基本的な考え方>



- ・ 「北海道遺産を次世代に引き継ぐ」という目標を達成するため、北海道遺産の価値を高める＝ブランド化するための取組みを進めていく。そのためには、52 件の北海道遺産を知ってもらい、ファンや来訪者を増やす方策と、選定地域側でも自分たちのまちの遺産をもっと知り、保全・活用に関わる人を増やし、外から訪れる人たちを受け入れるための体制をつくるといった方策が必要となる。
- ・ こうした目標に向けて、従来の「所在地や関係者」と「北海道遺産協議会」という二者間の関係だけでなく、プロジェクトチームの発足により多面的なブランド化、地域での体制づくりを進めるとともに、北海道遺産の入れ替えをも念頭に置いた 52 件の再評価を行い、北海道遺産プロジェクト全体に「動き」を創出する取組みを今年度からスタートさせる。

○伊藤園、WAON 寄付金の確実な執行

- ・ 伊藤園、WAON (イオン北海道、マックスバリュ北海道) から、地域の取組みを進めるために貴重な財政的支援をいただくことができた。これらの支援を確実に執行するとともに、その機会を北海道遺産の PR につなげる。

○地域との関係強化

- ・ これまで以上に地域との関係を強化し、多面的なブランド化、交流人口増加の主要なコンテンツにしていくため大学の若手研究者、関連企業等をメンバーとした「北海道遺産満足度向上プロジェクトチーム (仮称)」を発足させ、地域の課題解決等に向けた具体的な方策を各地域と連携しながら提案する。

○北海道遺産の価値の再評価

- ・ 第 1 回の選定から 10 年以上が経過し、地域の意識や活動に温度差もみられる一方、いくつかの地域や団体からは追加選定の要望も寄せられている。そこで今年度から 52 件の北海道遺産について「価値の再評価」を開始し、平成 27 年度を目途に「入れ替えを含めた再選定」も検討する。

＜平成 25 年度事業＞

（１）普及啓発活動事業 ※

「北海道遺産情報発信アプリの制作」（～3月）

各北海道遺産所在地域と連携して、スマートフォンを活用したまちの情報発信アプリを制作する。本年度については、アプリ制作に必要な地域の情報収集・整理を行う。

○1,500 千円

「リーフレットのリニューアル」（6～9月）

現在使用しているリーフレットの残数が少なくなっているため、紙面をリニューアルして制作する。最新の情報を掲載し、内容についてもより訴求力の高いものにしていく。

○1,200 千円

「Web 等での情報発信と管理運営」（通年）

各地の北海道遺産をはじめとする地域遺産に関連する情報を、ホームページ、メールニュースの発行、事務局ブログ、twitter、Facebook などを活用して、幅広く、タイムリーに発信する。

○200 千円

「その他 PR・会員サービス」（随時）

平成 21 年度から手づくりのニュースレター「北海道遺産だより」を発行（年 3 回）。内容としては、協議会の活動情報、地域の行事情報など。正会員・賛助会員・関係者等に送付する。会員サービスを拡大するため、北海道遺産選定地域・企業等にご協力をお願いを行う。

○300 千円

〔2〕地域活動促進支援事業および地域とのタイアップ事業 ※

「北海道遺産地域活動支援」(6月～)

イオン北海道、マックスバリュ北海道からの寄付金を活用し、北海道遺産所在地域における遺産保全・活用事業を募集。50万円×6～7件程度を選定し、活動に対する助成を行う。

発売開始年(7/28)を目途に寄付金の贈呈式等イベントを実施する。また、助成先団体の活動を紹介するパネルを作成し、イオンの店舗等で展示を行う。

○4,500千円

「北海道遺産交流会議の開催」(10月頃)

北海道遺産選定地域、ムラの宝物登録地域、正会員、賛助会員の皆さんと旅行会社等にもご参加いただき、地域資源利活用の現状と課題や今後の展望、事業化の検討と課題などについて、講演会や意見交換等の開催を予定。

○200千円

「北海道遺産満足度向上プロジェクトの発足」(6月～)

北海道遺産を訪れる人、受け入れる側双方の満足度を高め、北海道遺産をブランド化していくための必要方策について検討を行うプロジェクトチームを発足させる。メンバーは大学の研究者、関連企業等の若手を想定。

○100千円

〔3〕保全活用推進事業(ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト) ※

北海道遺産構想の趣旨を全道に普及する取り組みとして、平成19年度より応募を開始した「ほっかいどうムラの宝物プロジェクト」では、各地のムラの宝物をデータベースに登録し、公式ホームページで公開している。本データベースは、所在地エリア・ジャンル・キーワード・フリーワードで検索をかけられ、各データの詳細を見られる構成としている。

◇現在の登録数

- ・257件(平成25年5月現在)

◇今年度の活動

- ・将来的に、500件程度の登録を目標とし、今後も引き続き随時応募を受け付け、データベースの拡充を図る。
- ・Facebook等を活用した募集方法等についても検討を開始する。

○100千円

※(1)～(3)ほっかいどう遺産WAON寄付事業

(4) その他事業について

■会員募集について

＜会員拡大の具体的なアクション＞

◇北海道遺産選定地域の正会員加入のお願い

遺産選定地域とより強い連携をもち、北海道遺産構想を推進するため、正会員もしくは賛助会員として入会をお願いする。

◇公共施設等へのパンフレット設置

市町村役場、会員企業の施設、道庁赤レンガ、食と観光の情報館、等へパンフレットを送付、設置を依頼する。

◇イベント等でのパンフレット配布

北海道遺産関連のイベント等でパンフレットを配布する。

■正会員・賛助会員一覧（6月20日現在）

◇市町村（14 会員）

ニセコ町 / 中標津町 / 積丹町 / 京極町 / 松前町 / 足寄町
増毛町 / 標津町 / 遠軽町 / 上士幌町 / 黒松内町 / 倶知安町
別海町 / 小清水町

◇団体・協会（12 会員）

十勝川温泉旅館組合 / (社)北海道観光振興機構 / (社)北海道アイヌ協会
NPO 法人ピアソン会 / NPO 法人ひがし大雪アーチ橋友の会 / 北海土地改良区
認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト / 音更町十勝川温泉観光協会
NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団 / ホーストレッキングうまの家
公益財団法人草野河畔林トラスト財団 / 北海道農業協同組合中央会

◇企業・その他（11 会員）

土の博物館土の館 / 医療法人社団宮崎整形外科医院 / (株)シービーツアーズ
北海道中央バス(株) / オホーツク・ガリンコタワー(株)【新】
北の企画室 / 旭川製麺(株) / 中道リース(株) / 福山醸造(株)
(株)リージャスト 札幌支店 / 雪印メグミルク酪農と乳の歴史館

◇役員・個人（34 会員）